

八千代市立図書館サービス計画



平成28年3月



目 次

第1章	八千代市立図書館サービス計画の策定	1
1.	計画策定の趣旨	1
2.	計画の期間	1
第2章	図書館の現状と課題	2
第3章	図書館の機能	5
1.	中央図書館の機能	5
2.	地域図書館の機能	5
第4章	これからの図書館サービス	7
1.	計画の体系	7
2.	取り組むべき計画	8
○資料編		12
1.	サービス指標	13
2.	図書館事業に関連する法律及び計画	14
3.	年表	15

第1章 八千代市立図書館サービス計画の策定

1. 計画策定の趣旨

八千代市立図書館は、平成18年3月に策定された「八千代市図書館整備構想」及び「八千代市図書館整備計画」に掲げた、「生涯学習施設として、知的活動や創造的文化活動を支援する市民のための図書館」、「快適な読書空間としての図書館」、「文化と潤いのある八千代にふさわしい図書館」、及び「高度情報化時代に対応できる情報拠点としての図書館」の4つの理念に基づき図書館整備を行ってまいりました。

また、平成21年3月に「八千代市中央図書館等整備構想」を、平成22年3月に「八千代市中央図書館等整備計画」を策定し、八千代市の図書館の中核としてサービスを提供する中央図書館の整備をめざしました。

既存の地域図書館のあり方については、平成25年8月に「地域図書館のあり方」を公表し、大和田・八千代台・勝田台の3地区に地域図書館機能を存続できる方向で「公共施設再配置等の方針」や「八千代市地域コミュニティ推進計画」に沿って検討し、単なる機能の存続だけではなく、図書館サービスの向上をめざして具体策を検討するとしました。

これらを踏まえ、「八千代市立図書館サービス計画」は、中央図書館を中核とした図書館サービスの基本理念として、「地域に根ざしたサービスを行う市民にやさしい図書館」を掲げ、中央図書館と地域図書館の機能を明らかにし、市民の図書館への関心の高さや社会の変化に対応する新たな図書館像を描き、図書館サービスの基本的な方向を明らかにすることを目的とするものです。

2. 計画の期間

この計画の期間は、平成28年度を初年度とし、平成32年度までの5年間とし、必要に応じ適正な見直しを図るものとします。

第2章 図書館の現状と課題

八千代市立図書館は、昭和44年に八千代市立図書館（現大和田図書館）、昭和50年に八千代台図書館、昭和62年に勝田台図書館、平成16年に緑が丘図書館、平成27年7月に中央図書館が開館しました。

利用者の利便性向上のため、平成19年には阿蘇公民館・睦公民館での予約本の受取・返却を開始し、平成25年には総合生涯学習プラザ・村上公民館、平成27年10月に高津公民館と中央図書館入口ロータリー付近にブックポストを設置しました。

また、効率的・効果的な図書館サービスを推進するため、平成27年5月に緑が丘図書館、平成27年7月に中央図書館に指定管理者制度を導入しました。

近年の情報化の進展、少子高齢化などといった社会環境の変化に対応した図書館サービスの提供が必要となっております。また、地域図書館は、施設・設備の老朽化が著しく、狭隘化が課題となっております。

施設規模

館名	中央	大和田	八千代台	勝田台	緑が丘
開館日時	火～金 10時～19時 土・日・祝休日 9時～18時	火～日・祝休 日9時～17時	火・水・土・ 日・祝休日9 時～17時 木・金9時～ 19時	火～金 9時～19時 土・日・祝休 日 9時～17時	火～金 9時～19時 土・日・祝休 日 9時～17時
休館日	月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い休日でない日）・館内整理日（月曜日を除く最後の平日）・年末年始（12/29～1/4）・特別整理日（15日以内）				
開館年月	平成27年7月	昭和44年7 月	昭和50年5 月	昭和62年6 月	平成16年4 月
単独・複合	複合	本館 複合 別館 単独	単独	複合	複合
構造	鉄筋コンクリ ート造一部鉄 骨造2階建 免震	本館 鉄筋3 階建 / 別館 鉄筋2階建	鉄筋3階建	鉄筋地上4 階地下1階 建の1・2階 の一部	鉄筋5階建の 1・2・3階
敷地面積	12,073.42 m ²	2,985.86 m ²	340 m ²	2,338 m ²	1,000 m ²
延床面積	4,860.01 m ²	本館 873 m ² 別館 258 m ²	435 m ²	663 m ²	1,169 m ²
収容可能冊数	460,000冊	70,000冊	60,000冊	85,000冊	125,000冊
閲覧席*	350席	60席	22席	24席	91席
駐車場/ 駐輪場	県有料駐車場 288台/185台	兼用30台	専用3台	兼用13台	兼用21台 /106台

*閲覧席＝机を有する席

(1)中央図書館

中央図書館は、平成27年7月に、市民ギャラリーとの複合施設として、県立八千代広域公園内に開館しました。「学び・憩い・集い・情報の場」をコンセプトに、豊富な資料や情報の中で、滞在型の読書や学習を行うことができるように、多様な閲覧席を配置しました。また、さまざまなイベントを通して新たな出会いや交流の機会を設定し、一人ひとりが充実した人生を過ごすことができるような生涯学習の拠点としました。さらに、ティーンズコーナー、グループ学習室など、特に若年世代に配慮した閲覧席の配置を実現しています。

今後は、ホームページ、広報紙など多様な情報媒体を活用して広報に努め、利用の拡大をめざします。

(2)大和田図書館

昭和44年7月に旧大和田中学校校舎（建築年昭和37年3月）を転用し、八千代市立図書館として開館しました。昭和50年5月の八千代台図書館開館に併せて、昭和50年4月、八千代市立図書館は大和田図書館に改称しました。駐車スペースが他館に比べ広いことから、家族連れの車での来館が多く、乳幼児から高齢者まで幅広い世代に利用されています。

別館の児童室は子どもたちがゆっくり滞在し、読書ができます。本館は、1階に一般室、郷土資料室、新聞・雑誌コーナーがあり、1階全体で30席程度の座席を設置しています。2階には参考図書室、書庫、事務室、3階には学習室、書庫があります。

中学校校舎を転用しているため、バリアフリー等の構造になっていないことが課題です。本館は築50年以上が経過し、現状のまま長期的に図書館として使用するのには困難な状況となっています。今後のあり方について地域住民等と検討し、方向性を決定後、その実施に向けた計画の策定・推進を図ることが必要とされます。

なお、効率的・効果的な施設の管理・運営については、民間活力を導入することも検討します。

(3)八千代台図書館

八千代台図書館は、市民の厚意により土地が提供され、昭和50年5月に2館目の地域図書館として開館しました。駅から徒歩5分の住宅街の中という立地で、地域住民の身近な図書館として利用されています。

鉄筋3階建ての建物で、1階に一般室と新聞・雑誌コーナー、2階に児童室、事務室、3階におはなし室が配置された小さな図書館です。

館内で資料を閲覧する利用者が多くなっているため、特に一般書のある1階部分の狭隘化が目立っています。そのため、閲覧環境の改善が求められていること

や駐車台数が少ないことなどが課題です。

なお、効率的・効果的な施設の管理・運営については、民間活力を導入することも検討します。

(4)勝田台図書館

勝田台図書館は、昭和62年6月に3館目の地域図書館として、支所と文化センター、消防署等との複合施設である勝田台市民文化プラザに開館しました。

京成本線と東葉高速鉄道の2路線が利用できる勝田台駅に近い商業地に立地しており、学生や八千代市、佐倉市、千葉市の市民の乗降駅として勝田台駅が利用されていることから、学生や勤め人、高齢者など幅広い世代に利用されている図書館です。

児童エリアと一般エリアとの間に仕切りがないことや、館内で資料を閲覧する利用者が多くなって閲覧席が不足気味となってきていることなど、閲覧環境の改善が課題です。

なお、効率的・効果的な施設の管理・運営については、民間活力を導入することも検討します。

(5)緑が丘図書館

緑が丘図書館は、平成16年4月に緑が丘プラザの中に公民館との複合施設として開館しました。東葉高速鉄道の開通により宅地開発された地域であり、家族連れの利用が目立つ活気あふれる図書館です。西八千代北部地区の都市開発に伴い、今後も図書館利用の増加が見込まれます。CD・DVDの収集・館内視聴やビジネスコーナー、新聞データベース等情報化社会に対応した多様なサービスを行っています。また、1階に専用の学習室(28席)があり、地域館の中では最も多くの閲覧席があることから、若年世代の利用が非常に多い地域館です。

なお、緑が丘プラザの駐車場は公民館との共有のため、利用状況に比べ駐車台数が少ないことが課題です。

第3章 図書館の機能

1. 中央図書館の機能

中央図書館は、市内地域図書館、公民館図書室、学校等のネットワークの中核を担う図書館として、市民が文化、教養を高め、さらに、調査研究等を進めていくことにより、一人ひとりが充実した人生を過ごすことができるような生涯学習の拠点としての機能、学校支援の機能、市外の公共図書館等との相互協力の窓口としての機能を持ちます。これらを行う指定管理者と地域図書館との調整や、市全体としてバランスのとれた図書購入をするための選書を行う必要上、市職員を配置し市立図書館全体の図書館サービスの立案を行う中枢機能を持ちます。また、地域図書館を支援し、市内全域をサービスエリアとしますが、地域図書館としての機能も併せ持ちます。

2. 地域図書館の機能

地域図書館は、乳幼児から高齢者まで市民が気軽に立ち寄れる身近な図書館として、図書館の資料や情報の提供、レファレンス等のサービスを実施します。また、おはなし会など、地域に密着したサービスを提供します。さらに、地域住民のニーズにあわせた資料の選定を行っています。

(1)大和田図書館

本館では、地域住民が交流できる場の提供と新聞、雑誌、一般書の閲覧・貸出サービスなどを行っています。また、別棟の児童室では、児童書の貸出や家族が一緒に楽しめるおはなし会等を通して、子育て世代が交流できる場を提供します。

(2)八千代台図書館

家族と一緒に楽しめるおはなし会等を通して、子育て世代が交流できる場の提供や新聞、雑誌、児童書、実用書の閲覧・貸出サービスなどを行っています。

(3)勝田台図書館

おはなし会等の開催や、ボランティアグループ等との連携により、読書活動を支援し地域住民が交流できる場の提供を行います。また、新聞、雑誌、児童書、一般書の閲覧・貸出サービスなどを行っています。

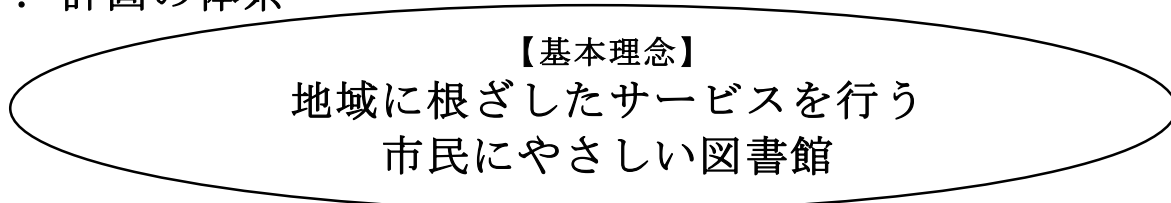
(4) 緑が丘図書館

子育て世代の利用が多いため、家族と一緒に楽しめるおはなし会や児童向けの科学遊び等の多くのイベントを開催します。また、勤め人や若年世代の利用も多いことから、新聞、雑誌、児童書、一般書のほか、CD・DVDの閲覧・貸出サービスなどを行い、ビジネスコーナーやデータベースの提供等のサービスも行っています。

なお、学習室の月曜日開放など、公民館との複合施設であることのメリットをいかした図書館とします。

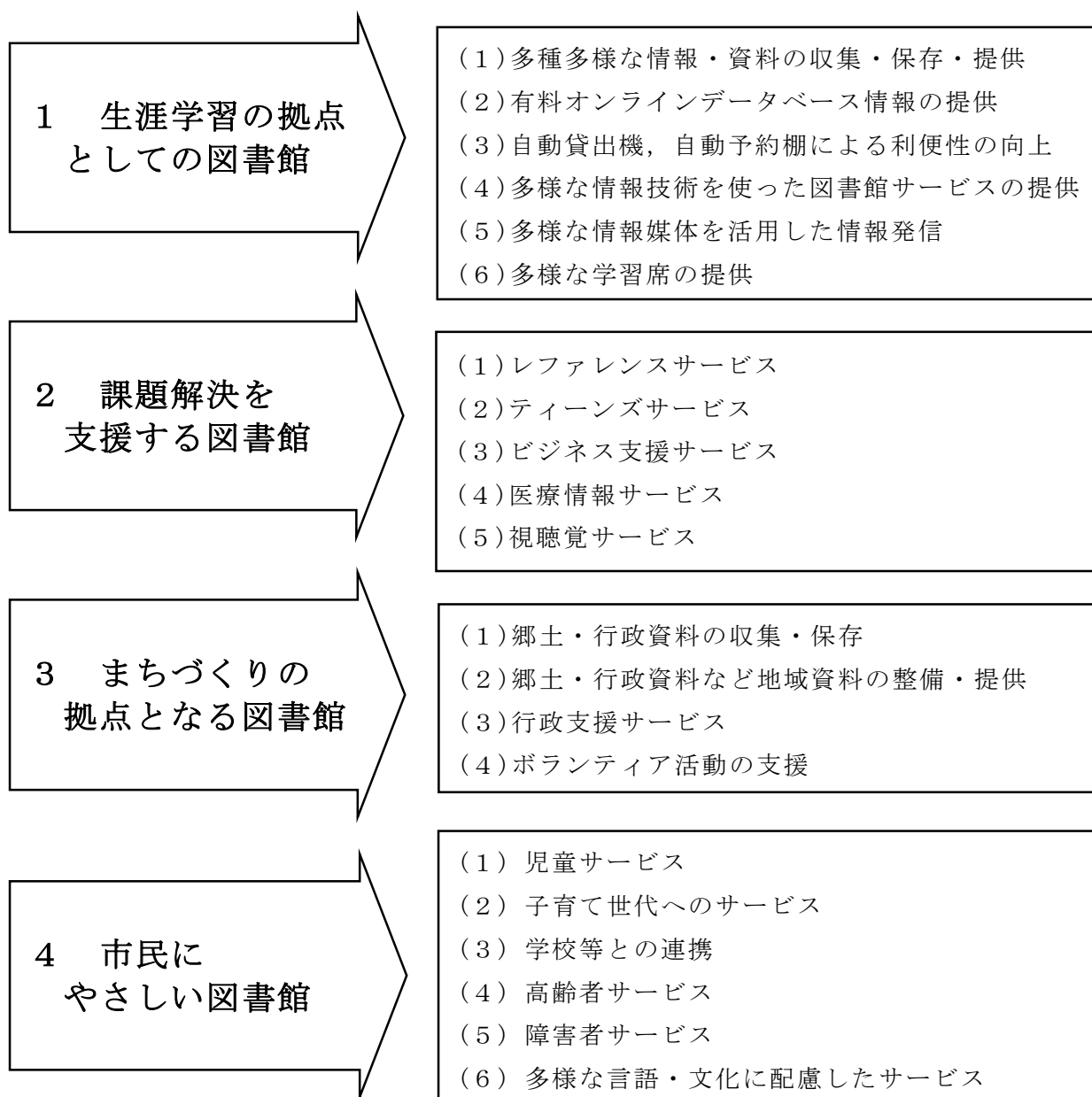
第4章 これからの図書館サービス

1. 計画の体系



《基本目標》

《取組指針》



2. 取り組むべき計画

図書館は、すべての市民に公平に知識や情報を提供する役割を担っていることから、多様な要望に応えるとともに、乳幼児、高齢者、障害者等に対しても図書館サービスを提供する必要があります。市民一人ひとりの生涯にわたってのさまざまな活動と課題解決を支援し、暮らしに役立つ地域に根ざしたサービスを行い、知的要求に応じていきます。その実現のため4つの基本目標を定め事業運営を行います。

(1)生涯学習の拠点としての図書館

生涯学習の拠点として、市民が学ぶ環境を整備するとともに、図書館ネットワークを活用し、迅速な資料提供に努めます。

①多種多様な情報・資料の収集・保存・提供

図書館資料は多様なニーズに応えるため、文学、参考図書、教養・実用図書等、生涯学習に資する幅広い分野の資料を「八千代市立図書館資料収集基準」等に基づき収集・保存するほか、必要に応じて、国立国会図書館、他県や県内自治体等の図書館から資料を借用する制度により、市民が必要とする資料を提供します。また、資料の展示やリストの作成配布も行います。

中央図書館では、専門的な資料も収集・保存し、専門性の高い内容の調査・研究にも対応できるような蔵書の構築に努めます。また、地域図書館においても、市民に身近な資料を揃え、市民からの要求により迅速に対応し、読書をゆったり楽しめる閲覧スペースを設けることに努めます。

②有料オンラインデータベース情報の提供

中央図書館、緑が丘図書館は、有料オンラインデータベースを利用し、価値の高い最新情報を提供します。

③自動貸出機、自動予約棚による利便性の向上

利用者が多い中央図書館では、自動貸出機、自動予約棚、自動返却機の導入により、個人情報の保護を図るとともに、貸出手続きを簡素化し、スムーズな貸出処理を行います。

④多様な情報技術を使った図書館サービスの提供

各館で利用者用にインターネット端末を設置し、情報の検索や調査を支援するほか、中央図書館、緑が丘図書館では電子書籍の貸出、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス等のインターネットを活用した情報の提供を行います。

今後は、情報化の進展に対応できるようデジタル資料（電子的な出版物）の提供によりいっそう努めます。また、中央図書館と緑が丘図書館では引き続き無線LANサービス等の環境整備も行っていきます。

⑤多様な情報媒体を活用した情報発信

市ホームページや図書館ホームページ，広報紙等を活用して図書館情報を市民にわかりやすく広報します。さらに，市民に幅広い情報を発信できる利用しやすい図書館ホームページの構築に努めます。

⑥多様な学習席の提供

個人が集中して学習できる学習室やキャレル席(隣の席との仕切りがある個人閲覧席)，グループが自由に話し合いをしながら学習できるグループ学習室等の多様な目的に応じた学習ができる環境の改善に努めます。

学習室	中央図書館・大和田図書館・緑が丘図書館
キャレル席	中央図書館・緑が丘図書館
グループ学習室	中央図書館

(2)課題解決に役立つ図書館

市民の求める情報・資料を的確に案内・提供するとともに，利用者自身が問題を解決できるような環境を整備し，課題解決の支援に努めます。

①レファレンスサービス

参考図書のほか，電子資料やインターネットを活用して的確なレファレンスを行うことにより，市民の暮らしの中でのさまざまな疑問に応えます。また，学習や仕事をする上で必要な資料や情報を，提供するとともに，利用者自身が情報を得られるように調査方法も案内します。

中央図書館は，豊富な蔵書をもとに，地域館のレファレンスサービスを支援するほか，調べ方案内等のリーフレットを作成します。

②ティーンズサービス

読書離れの傾向が強いティーンズ向けに情報紙の発行やホームページ上の専用ページを充実させることで，本に親しむきっかけを作り，利用拡大に努めます。

さらに，日常生活や進路などの悩みといった成長過程に沿った，課題解決に役立つ資料を充実させます。

③ビジネス支援サービス

中央図書館が中心となり，パンフレット等を含め，ビジネス関係，各種資格取得や，就職，キャリアアップのための資料・情報を収集・提供します。

さらに，調べ方案内のリーフレット作成，職業相談会やセミナーの情報提供，関連機関と連携した講座開催等を行います。

④医療情報サービス

中央図書館が中心となり，パンフレット等を含めた医学情報資料や闘病記を収集，提供します。

また、調べ方案内のリーフレット作成や闘病記リストの作成等を行い、利用しやすい環境づくりに努めます。さらに、関連機関とも連携し、講座等の開催を図ります。

⑤視聴覚サービス

音声・映像（CD・DVDなど）の視聴覚資料は、図書資料との関係や最新の技術動向を考慮し、中央図書館と緑が丘図書館で収集します。

(3)まちづくりの拠点となる図書館

郷土について知り、学び、考えるための手がかりとなる資料の活用や次世代への継承のため、郷土・行政資料の収集や保存、提供に努めることにより、豊かな市民文化の創造に貢献します。

また、多様化する市民ニーズに対応するため、図書館ボランティアとの協働による事業を展開し、図書館サービスの質の向上に取り組むとともに、自主的に活動できるよう支援します。

①郷土・行政資料の収集・保存

市に関する資料については、中央図書館を中心として全館で収集・保存を行います。千葉県や近隣自治体に関する資料については、県内図書館の所蔵状況等も考慮し、中央図書館が中心となって収集・保存を行っています。

今後は、八千代市の古くから伝わる歴史的にも貴重な資料をデジタル化することにより、市民が地域について学ぶ機会を広げます。

②郷土・行政資料など地域資料の整備・提供

収集した郷土・行政資料など地域資料を有効活用するため、図書資料、リーフレット、パンフレット、ちらし等閲覧できる環境整備に努めます。また、資料を適切に整理するとともに、市民の調査・研究を支援するため、積極的に情報提供を行います。

③行政支援サービス

市の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化するとともに、積極的にその内容を情報発信していきます。

④ボランティア活動の支援

社会貢献活動に興味を持つ方やボランティア活動をしている方に対し、育成・支援し、乳幼児から高齢者、障害者等に対して、快適に図書館サービスを提供できるよう環境整備をします。

中央図書館では、布絵本等の資料の作成を支援するため、ボランティアが活動しやすい環境整備に努めます。

(4)市民にやさしい図書館

図書館は乳幼児から高齢者、障害者等さまざまな方が利用する施設です。すべての方が快適に利用しやすいよう、中央図書館の多様な資料やサービスを活用し、市民のニーズに応えます。

①児童サービス

子どもたちが読書の楽しさを知り、自ら考え学ぶことができるように、魅力ある絵本や読み物などを豊富に揃えるとともに、資料の排架やテーマに沿った展示を工夫し、子どもの読書活動を支援します。また、おはなし会や工作会等の行事を通して広報を行うことで、子どもたちの読書や図書館への関心が高まるよう、努めます。

②子育て世代へのサービス

子育て中の方が利用しやすいよう、子育てに関する資料を集めたコーナーを設置するとともに、親子を対象とした行事等を開催し、子育て世代同士の交流から、子育てに関する情報を得られる環境を整備します。

③学校等との連携

児童・生徒の職場体験の受入れや保育園・幼稚園から来館する園児などへのおはなし会、本の貸出等を行います。また、学校等への図書館資料の団体貸出や読書活動に役立つ情報の提供等を通して、子どもの読書活動を支援します。

④高齢者サービス

大活字本や音声・映像資料等を収集し、高齢者の読書傾向に配慮した資料・サービスを提供します。また、資料の充実やゆっくりと読書を楽しめる空間づくりに努めます。

さらに、高齢者福祉施設への団体貸出等を検討します。

⑤障害者サービス

中央図書館が所蔵している、デジジー図書、点字図書、大活字本等を、巡回便により、全館で提供します。また、心身に障害があるなどの理由で来館が困難な方に対しては、中央図書館で一括して、宅配などのサービスを行います。

さらに、対面朗読室や録音室の活用促進、資料の充実に努め、病院への団体貸出等も検討します。

⑥多様な言語・文化に配慮したサービス

中央図書館では、日本語以外の言語を母国語とする市民に対し、自国についての情報や日本で暮らしていくための知識が得られるよう、外国語資料の充実、利用案内等の配布物や掲示物の多言語対応を図ります。また、多文化理解に役立つ資料や情報の収集・提供にも努めます。

資料編

1. サービス指標
2. 図書館事業に関連する法律及び計画
3. 年表

1. サービス指標

八千代市、千葉県全体の図書の貸出状況などの図書館サービス指標は次のとおりとなっています。

サービス指標 (算出根拠)	(1)八千代市 ※	(2)県内公立 図書館平均 ※	(3)指標の目標値
① 個人貸出登録率	32.7%	35.2%	38.5%
② 登録者数	62,569 人	—	77,000 人
③ 市民一人当たりの 貸出冊数	4.81 冊	5.40 冊	5.41 冊
④ 市民一人当たりの 蔵書冊数	2.49 冊	3.12 冊	3.12 冊
⑤ イベント開催回数	387 回	—	450 回
⑥ イベント参加者数	4,580 人	—	5,500 人

※ 八千代市、県内公立図書館平均の数字は平成26年度実績

【出典】

(1)八千代市

「図書館年報 平成27年度」(八千代市立図書館)

(2)県内公立図書館平均

「千葉県の図書館 2015」(千葉県公共図書館協会)

(3)指標の目標値

八千代市第4次総合計画後期基本計画

第2期生涯学習推進計画

2. 図書館事業に関連する法律及び計画

国・八千代市の動き

【国の動き】

- ・図書館法 昭和25年4月
- ・子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第1次計画）
平成14年8月
- ・教育基本法の全部改正
平成18年12月
- ・子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第2次計画）
平成20年3月
- ・国民読書年 平成22年
- ・図書館法 平成23年12月改正
- ・図書館の設置及び運営上の望ましい基準 平成24年12月
- ・子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第3次計画）
平成25年6月
- ・第2期教育振興基本計画
平成25年

【八千代市の動き】

- ・「八千代市図書館整備構想」
「八千代市図書館整備計画」
平成18年3月
- ・第4次八千代市生涯学習推進計画
平成20年3月
- ・八千代市中央図書館等整備構想
平成21年3月
- ・八千代市中央図書館等整備計画
平成22年3月
- ・第2次八千代市生涯学習基本構想
平成22年10月
- ・八千代市第4次総合計画
（平成23年度～32年度）
平成22年11月
- ・八千代市子ども読書活動推進計画
平成24年3月
- ・地域図書館のあり方
平成25年8月
- ・八千代市第4次総合計画後期基本計画（平成28年度～32年度）
平成28年3月

3. 年表

昭和	41年	4月	八千代町教育委員会図書室発足
	42年	1月	市制施行で「八千代市」となる
	44年	7月	八千代市立図書館開館（旧大和田中学校校舎）
	45年	8月	移動図書館「みどり号」運行開始
	50年	4月	八千代市立図書館を「大和田図書館」に改称
		5月	八千代台図書館開館
59年	5月	大和田図書館別館（児童室）開館	
62年	6月	勝田台図書館開館	
平成	8年	2月	勝田台図書館電算化業務開始
	9年	4月	八千代市図書館協議会設置
	10年	10月	市立図書館3館ネットワーク開始
		11月	市立図書館相互運搬業務委託開始
	16年	4月	緑が丘図書館開館
			祝日開館開始（月曜日以外）
	18年	3月	移動図書館「みどり号」運行廃止
		5月	大和田図書館に団体貸出専用の図書室を設置
	19年	3月	障害者等への宅配サービス開始
		12月	阿蘇公民館・睦公民館での予約本の受取・返却を開始
	21年	4月	団体貸出配送開始
	24年	3月	（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリー整備事業（基本設計）
		4月	月曜日の祝日開館実施
	25年	3月	（仮称）八千代市立中央図書館・市民ギャラリー整備事業（実施設計）
4月		文部科学大臣表彰受賞（子どもの読書活動優秀実践図書館として）	
10月		総合生涯学習プラザ・村上公民館にブックポストを設置	
27年	4月	緑が丘図書館学習室の月曜日開放開始	
	5月	緑が丘図書館に指定管理者制度を導入（指定期間4年11か月間）	
	7月	八千代市立中央図書館・八千代市市民ギャラリー開館	
		中央図書館に指定管理者制度を導入（指定期間4年9か月間）	
10月		高津公民館と中央図書館入口ロータリー付近にブックポストを設置	

八千代市立図書館サービス計画

平成28年3月

編集：生涯学習部 中央図書館

発行：八千代市

〒276-0028

八千代市村上 2510

TEL：047-411-8644

FAX：047-456-8665

